

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「普段の生活に近い状態で暮らして頂けるようお手伝い致します。生きている実感の持てる暮らしを支援いたします。入居者の体力・知力に合わせたお手伝いを致します。地域社会と協調した施設として運営をしていきます」の運営理念を、毎朝の朝礼時に全職員で唱和している。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	ホームの運営理念を事務室に掲げ、全職員で唱和している。ミーティング・カンファレンスにて具体的に実践項目を掲げ、介護に生かしている。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	月刊「グループホームはなみずき通信」を発行し、家族に毎月郵送して近況報告をしている。また、町内区長・民生委員にも渡し状況を話している。運営推進会議・家族会で具体的に説明し、理解をいただいている。	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	地域の行事に、利用者・職員が出向いて参加させてもらい、ホームの行事には、区長・民生委員など地域の方に来訪していただいている。顔見知りの方も増えて、道で声を掛け、挨拶を気軽にできている。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	夏祭り・敬老会・餅つき大会・ダンボール回収など、地域の行事活動に参加させていただいたり、当ホームの行事に区長・民生委員や地域の方も参加していただいたり、地域住民としての交流に努めている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	ミーティング・カンファレンスを通し、職員と改善項目を共有して、指導・指針に沿えるよう具体的実践活動にした。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	具体的に個々の必要性まで検討が進んでなく、ホーム内をはじめ、地域の役員とも話し合い、必要な人に活用していただけるようにしたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>〇契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書・利用者の権利、義務を契約書に明示している。入居時に入居者及び家族に説明をし、同意を得ているが、説明が足りないと思えた家族や入居者には、特に注意して入居後も説明を行い、現在は十分な理解を得ている。</p>	
13	<p>〇運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々の介護業務の中で意見をお聞きし、申し送りノート・介護日誌等にて全職員に知らせて共有化し、ユニットミーティング・カンファレンス等にて具体的対応策を作成し、利用者の対応をしている。</p>	
14	<p>〇家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月刊「グループホームはなみずき通信」によるホームの状況報告誌と「入居者状況報告書」「小口現金預かり金出納台帳領収書添付」等を同封して郵送している。面会等の来訪時、介護職員及び看護師が詳しい近況報告をしている。</p>	
15	<p>〇運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会・運営推進会議等にて意見をお聞きし、会議出席(市役所・町内会役員・家族代表者)の方々と検討する。結果を議事録にまとめ、全職員に回覧、また、ミーティング等にて通知・指導している。</p>	
16	<p>〇運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月の全体ミーティング・ユニット会議等にて意見を収集し、改善策を立て、現場にて実践に移すようにしている。</p>	
17	<p>〇柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の容態の異変時、介護看護職員が即対応できるよう、マニュアルを作成している。行事等人手が多く必要な時、また、個人都合等のシフトに対応するため、ミーティング等にて説明を行い、前月の20日までに調整したシフトを作成し、職員の理解を得ている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>介護職のワークの信念と職務の誇りについて、個別ミーティングを行い、職員間のサークル活動によりチームワークを強くしている。目的意識をしっかりと持ってきているので、利用者とのコミュニケーションもとやすくなり、職員の離職率が非常に低くなってきている。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>「やる気・元気」を重んじ、仕事に向かう本人の姿勢を重んじている。職員は行事の企画、運営を行い、サークル活動の「はなみずき元気倶楽部」にてレクリエーション・料理・創作園芸のクラブを利用者と一緒に活動し、地域の行事等に利用者と一緒に参加している。個性、特性を考慮しながら、役割・配置決めなど配慮している。勤務調整など希望にも応じている。</p>		
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>入居者に対しての人権尊重などに関して、ミーティングにて管理者が伝えている。全員で話し合うとともに、職員一人ひとりに指導を行っている。</p>		
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回のミーティング・カンファレンスを通し、認知症ケア・感染症等についての資料を提供している。</p>	○	<p>外部研修など、積極的な参加を促し、職員の認知症ケアのレベルアップを図っていきたい。</p>
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流は行っていない。他の情報は、市役所・包括支援センターの担当者・運営推進会議等でサービス向上への収集をしている。</p>	○	<p>今後は、同業者との交流を行い、当ホームのレベルアップと同時に、業界のレベルが向上すればよいと思っている。</p>
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>全体ミーティングのみではなく、個別ミーティングを利用し、個人的な相談に応じている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>勤務状況・各行事の企画実施・サークル活動を通して、職員の実績を把握し、個別ミーティング等で各自の目標、意向を収集し、沿えるように努力している。</p>		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>ご本人・ご家族との面接を行って情報収集し、相談に乗っている。</p>		
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>ホームに見学に来ていただき、家族からの悩み等を時間をかけて面接時にお聞きする。</p>		
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>介護上及び看護上の対応等のポイントを絞り、当ホームでの生活上必要なケアについて、介護・看護スタッフとの対応ミーティングを行う。</p>		
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になんか馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>最初は本人の性格や言動を観察し、レクリエーションや散歩、話し相手をしてしながらコミュニケーションをとり、他の入居者の輪に入れるよう、また、場の雰囲気になんか馴染んでもらえるよう、家族の面会も回数を増やし、ご本人の孤独や寂しさを取り除くよう努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>生活の中で料理作りや手芸、折り紙、歌など、昔の趣味の延長上で職員とともに作業をし、また、職員が教えてもらうこともあり、共に共感しあえる場を作っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p> <p>外出時、通院などにはご家族の協力を得ることもある。</p>	○	<p>今後も、ご家族もケアの中に巻き込んで、一緒に入居者の支援をしていくよう働きかけたい。</p>
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p> <p>職員は入居者とご家族の関係を受け入れ、関係が保てるよう努力している。</p>		
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> <p>家族・知人との手紙のやり取りを援助し、幼いとき生活した地域を思い出され、地図を書いてもらい、目標の店、川などの写真を撮って貼り付け、心の故郷を再現する「回帰法」にて心の安らぎを作っている。</p>		
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p> <p>行事やレクリエーションなど、入居者の方々でできることを行っている。また、日常生活でも入居者同士の関わり合いがうまくいくよう、職員が仲介している。</p>		
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> <p>退去後も、利用者や家族が気軽にホームに尋ねられたり、連絡できる体制はとっている。</p>		
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> <p>入居者の言動や家族からの情報を集めて、把握に努めている。また、客観的に入居者の立場に立って対応するよう心がけている。</p>	○	<p>今後も入居者、ご家族と密なコミュニケーションをとり、情報を集めていきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族、以前利用されていたサービス機関から情報を収集し、把握に努めている。		
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その日の精神状態や健康状態は、申し送りなどを通じて把握している。また、入居者の日々の過ごし方や、介助の場面などにおいて、ご本人のできること・できないことの把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人、ご家族からの要望がある際は、積極的にケアプランに取り入れているものの、特に要望を言われない方に対しては、働きかけが少ない。		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にカンファレンスは開かれていたものの、ケアマネージャー不在の期間があり、適切な期間にケアプランの見直しが行われていないことがあった。	○	現在はケアマネージャーが配属され、ケアプランの期間に応じた見直しがなされている。また、入居者の状態変化に合わせて、その都度話し合いを行い、現状に合ったケアプランを作成している。
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日勤者記録・夜勤者記録・申し送りノートなどに記入し、情報を得るようにしている。また、これらの情報を用いてカンファレンスを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族の要望を聞いてカンファレンス等で話し合い、要望を実現できるよう、グループホームの機能を最大限生かせるよう努力している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	<p>〇地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>運営推進会議において話し合いを持ち、ホームの行事のときは区長などに協力していただいている。また、災害などに備えて、消防の指導のもと訓練も実施している。</p>	〇	<p>今後も各機関との関係を密にしていきたい。警察、文化・教育機関とも関わりを持っていきたい。</p>
43	<p>〇他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>提携病院の医師、理学療法士等から日常生活での注意点などのアドバイスを受けている。</p>		
44	<p>〇地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議の際には、包括支援センターの担当の方に出席していただき、そこで情報交換を行っている。</p>		
45	<p>〇かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族、又はご本人に当ホームの提携病院について説明し、了解を得て、入居者が精神的・身体的に健康な生活が送れるよう支援している。</p>		
46	<p>〇認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>専門医ではないが、提携病院の医師に相談でき、アドバイスをいただいで関係を築いている。</p>		
47	<p>〇看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>提携病院のナースや、ホームに勤務していると気軽に相談でき、アドバイスを受けている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> <p>入居者が入院した場合は、ホームでの生活状況等の情報を提供し、また、入院後の経過、退院後の生活の注意点などの情報をいただき、病院との連携に努めている。</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>ターミナルケアなどの話し合いは、まだ行われていない。</p>	○	<p>今後、入居者が家庭的な環境の中で、その人らしい最後が迎えられるよう、職員の勉強会や家族・医師等と話し合いを持ちたい。</p>
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>重度の方も生きがいのある生活が送れるよう、医師のアドバイスを含めたミーティングを、入居者の状況に合わせて行っている。</p>		
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>別の居所への移動の際には、ケア関係者に身体的状況や生活の仕方など、情報交換できる体制をとっている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>排泄の誘導や入浴など、生活のあらゆる場面において、プライドを傷つけないような行動を心がけている。</p>	○	<p>今後も職員間で確認し合いながら向上していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	<p>今後も、生活のさまざまな場面において、入居者が自ら選択して、主体的な生活が送れるよう、働きかけていきたい。</p>
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	<p>入居者に思い思いの一日を過ごさせていただくよう、希望を引き出し、それに沿えるように職員間で話し合って生きたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>入居者のできること、できないことを把握し、入居者と職員が一緒になって行っていきたい。</p>
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> <p>入浴は業務や時間の都合で、火・木・土の10時30分ころから16時ごろまでとしている。その時間帯の中で、入居者の入るタイミングに合わせて行っている。</p>	○	職員間で入浴時間の話し合いを持ち、入居者に入浴を楽しんでいただけるよう、努力していきたい。
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> <p>一人ひとりのその時の状態で、臥床を促したりソファーに座っていただくよう誘導したりしている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> <p>利用者の特徴を把握し、生活のさまざまな場面で役割が持てるよう努めている。また、季節に行われる行事や、誕生日のお祝い、敬老会など、入居者に楽しんでもらえるようなものも企画している。</p>		
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> <p>お金の紛失やトラブルにならないよう、ほとんどの入居者のお金は、職員が管理している。</p>	○	職員がお金を持つことの大切さを理解し、それぞれの入居者の能力に合わせて支援していきたい。
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> <p>一人ひとりの希望に沿ってはいないが、病院へリハビリに行くのを兼ねて、近くをドライブしたり、ホーム周辺を散歩したりしている。また、入居者によっては近くのスーパーまで買い物をしている。</p>		
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> <p>一人ひとりの希望に沿ってはいないが、約月に1回程度ドライブに行ったり、外食をしたりしている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人自らではないが、電話をかけたいと要望があったときはすぐに対応している。また、ホームに届いた入居者宛の手紙はご本人に渡している。		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の方が来られたら、椅子をお出して入居者と一緒にお茶を飲んでいただいたりして、ゆっくり過ごせるよう心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が正しく理解できてはいないが、日々の介護の中では拘束をしないよう意識しているが、文書による家族の同意を得て、ベッド柵などの対応している部分もある。	○	今後、拘束について、研修を利用したり職員内で勉強会を開いたりして、理解を深めていき、職員の意識向上をしていきたい。
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在、安全上の理由で玄関・階段・フロアの窓、居室の窓を施錠しており、鍵をかけないケアには取り組めていない。	○	今後、職員間で話し合いを重ねて意識の統一をし、段階的、又は入居者の状況に合わせて鍵をかけないようにして、最終的には開放されたホームを目指していきたい。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	できるだけご本人のプライバシーやペースを乱さないような見守りを心がけ、入居者の状態把握や安全に努めている。		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の現金はホームで管理しているが、その他の私物はご本人の能力に応じて所持していただいている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	すべての職員がマニュアルの内容を理解できるよう、定期的に勉強会を行っていききたい。
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	○	ご家族と話す際は、ケアプランの説明や近況報告だけではなく、今後予測できる危険性について、十分な説明を行い、ご家族の理解を得て、入居者に自由な生活を送っていただけるよう努めていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	○	薬の説明書を利用し、理解を深めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>毎朝体操をしたり、できるだけ体を動かすよう努めている。また、水分補給の時間も設けている。外出先から帰ってきたら、必ず水分補給をして頂く。</p>	
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、歯磨きの声掛けをし、場合によって介助している。</p>	
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>安全にきちんと摂取できるよう、咀嚼、嚥下の程度を把握し、とりみ、刻みなど個別に対応している。</p>	
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染予防のマニュアルを作成し、いつでも確認できる場所に置いてある。また、その内容も期間を決めて実行している。</p>	
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>夜間にその日使ったふきん類やまな板、調理器具などを消毒して、食中毒予防に努めている。</p>	
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関には職員の紹介を貼ったり、柔らかい雰囲気になるよう、草花も植えている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者に季節を感じていただけるような飾り付けを心がけている。日中はできるだけ自然の光を土地入れるようにしている。		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者同士、思い思いの場所で会話などをして過ごしているが、共用の場で独りになれるところはない。2Fはテレビの前に畳のスペースを設け、畳に慣れている方に居心地の良い空間を心がけている。	○	フロアの中に、他者の視線が気にならず、独りになれる空間を作るよう検討していきたい。
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者によっては以前から使っているものを持ち込んでいる方も折られるが、すべての入居者がそのような状態ではない。	○	入居時や面会時などにご家族に働きかけていきたい。
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の清掃時には、必ず換気をしている。冬季には空気の乾燥を防ぐため、余計な暖房は使用せず、加湿器をつけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者が靴を履きやすいように、玄関にはベンチを設置している。浴槽は、出入りの安全を考え、階段式になっており、手すりも設置している。		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者のご自分の居室を認識できやすいように、それぞれの名前と顔写真を貼っている。	○	今後も他の所でも、入居者のご自分で理解でき、行動できるような入居者の立場に立った環境整備を行ってきたい。
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周りには畑があり、職員と一緒に収穫などを行っている。しかし、安全上施錠をしているため、自由に外に出ることができない。	○	今後は、施錠について検討していきたい。ベランダにはベンチなどを置いて、入居者が楽しめるような場を作りたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の	
		②利用者の2/3くらいの	
		③利用者の1/3くらいの	
		④ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある	
		②数日に1回程度ある	
		③たまにある	
		④ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が	
		②利用者の2/3くらいが	
		③利用者の1/3くらいが	
		④ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が	
		②利用者の2/3くらいが	
		③利用者の1/3くらいが	
		④ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が	
		②利用者の2/3くらいが	
		③利用者の1/3くらいが	
		④ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が	
		②利用者の2/3くらいが	
		③利用者の1/3くらいが	
		④ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が	
		②利用者の2/3くらいが	
		③利用者の1/3くらいが	
		④ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と	
		②家族の2/3くらいと	
		③家族の1/3くらいと	
		④ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①	ほぼ毎日のように
		②	数日に1回程度
		③	たまに
		④	ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①	大いに増えている
		②	少しずつ増えている
		③	あまり増えていない
		④	全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	①	ほぼ全ての職員が
		②	職員の2/3くらいが
		③	職員の1/3くらいが
		④	ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①	ほぼ全ての利用者が
		②	利用者の2/3くらいが
		③	利用者の1/3くらいが
		④	ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①	ほぼ全ての家族等が
		②	家族等の2/3くらいが
		③	家族等の1/3くらいが
		④	ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)